

現地調査も開始

祝辭を述べ、『日韓トンネル研究会』の会長には佐々保雄・北大名誉教授、理事には紅林茂夫・国際経済研究センター理事長、清水馨八郎・千葉大教授など錚々たる顔ぶれを選んでいる。

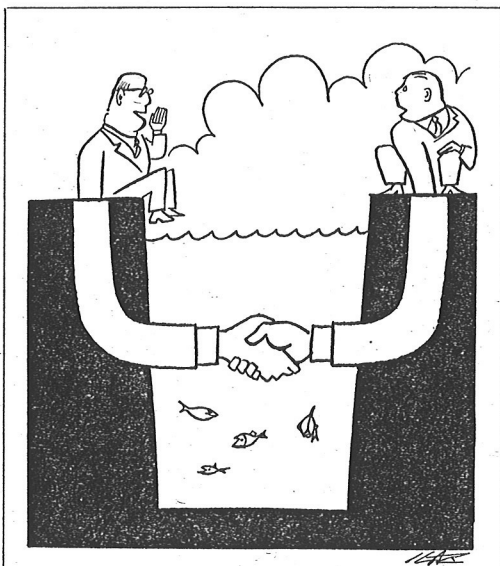
いまや、『日韓トンネル研究会』とは別に、事業主体としての『国際ハイウェイ建設事業団』というのも作られ動き始めている。こちらは船をチャーターして対馬海峡で音波探査を開始するわ、自ら第一定安丸という五二トンの調査船は購入するわといった状態。トンネルの日本側出発点になるはずの唐津市や、中間の杵岐、対馬には、早くも現地事務所まで設けたという。

寄付集めが目的とも

関係者は、いうまでもなく真剣なのである。『日韓トンネル研究会』の顧問に就任した景山哲夫・近畿大学長はいう。

「私は日ごろ、学長の仕事もあって、自分で本を書く暇がない。その代り、何か世の中のお役に立てるようにと、人から頼まれたことを手伝ってやるようにしているんです。日韓トンネルの件は、『世界平和教授アカデミー』の研究会の折に頼まれましたね、私は顧問と大阪地区の責任者を引き受けました。トンネルの会議が開かれるときには必

MONEY



本気ですか、日韓トンネル

ず出席しているし、現地へも行きましたよ。現地には、『日韓トンネル研究会』の支部もあった、調査もどんどん進んでいきます。私の専門は経済だから技術的なことはよく分らんが、現地で調査中の技術者によれば、技術的には問題なさそうです」

青函トンネルが掘れたんだから、日韓トンネルも掘れるだろうと、景山学長、驚くばかりに樂觀的なのである。

「このトンネルは、海底の下五百メートルのところを掘り進むんだそうです。九州から韓国の間には、ちょうど対馬があるわけですが、対馬で地上に出ようとすると、極端な急傾斜になる。ほんとは一気に韓国まで行った方

がいらしいんですが、「どちらがいいでしょうか」などと、私に相談があるわけです。私はだいたいトンネルが嫌いですからね、対馬で一度地上に出るべきだ、と答えました。技術の選択に際しては、素人の意見が必要なんだそうです」

ところで、この日韓トンネル構想なるものには、戦前派の方なら、何となく聞き覚えがおありかもしれない。日韓トンネルばかりではなく、国際ハイウェイ構想そのものが、実は文鮮明師の専売特許ではないのである。すでに四十年前、日本の帝國陸軍が大東亜共榮圏構想のものと日本からヨーロッパに至る大鉄道計画を作っている。陸軍

の依頼を受けた鉄道省は、青函トンネル、関門トンネル、日韓トンネルなどの現地調査に着手。対馬海峡での弾性波調査（昭和十六年）、ボーリング調査（同十七年）まで行なったのである。

戦後にも『大林組』が、こちらは机上プランだが、同じ構想を検討し発表したことがあるんだという。

『大林組』広報室の林章課長代理によると、

「うちの場合は、当社が発行しているPR誌『季刊大林』の編集上の企画としてやったものです。東京からロンドンまで道路を造るにはいかにすべきか、というテーマで、社内の技術者十人に参加してもらい、昼休みや土曜日の午後集まって半年がかりで道路計画を作ったんです。その中心が、やはり日韓トンネル。帝国陸軍と鉄道省の選んだコースが最善のものと仮定して、唐津市の北にある呼子町を基点にし、宍岐、対馬、釜山をつなぐ設計を試みた。工事費は三兆円との算定も出しました。私どもがそのPR誌を発行して一年ぐらいたったら、向う（統一教会）の計画がポカンと出てきたんですね。最初はうちのプランとそっくりなことをいっていました。向うも工費は三

兆円。まあ、特許を申請したわけじゃないからしょうがないけど……」

ただし『大林組』は驚いているのである。

「うちは、技術者の夢として、遊びとしてだからやりましたが、現実には掘りとなったら、これは別問題。対馬の北西、沖合十キロには、対馬トラフと呼ばれる落差数百メートル以上の正断層があるんですよ。海底調査だけで、二、三十年は必要。費用は見当もつかないほどかかるんじゃないでしょうか」

『日韓トンネル研究会』を激励した安井謙・参院議員は何とおっしゃるか。

「あれはねえ、すぐにできるといふものじゃない。二つの問題があるでしょうね。一つは技術的にどうかという問題。もうひ

とつは、大変な力ネがかかるだろうという問題。日韓の間には、フェリーもあるし、飛行機もある。トンネルを掘る前に、両国民が親しくなるためにやるべきことも沢山ある。あれは一つの夢なんです。夢を追うののほうがいいことだと思うんですが」

統一教会はトンネル調査のための寄付金集めもすでに始めた、とある関係者。永遠に寄付集めを続ける魂胆なのかもしれないが、肝心かなめの統一協会内部では平和が保たれているかといえば、この一日、同協会の機関紙を発行する『世男日報社』で、編集方針をめぐる内ゲバ騒ぎを起している。渋谷署が仲裁に駆け付ける騒ぎ。

『世界日報』も休刊。トンネル以前の状態のようだ。

〔まんが・クロイワ・カズ〕

コンをつめると肩もこる

コリコリときたら...



肩こり・腰痛・神経痛・打撲

トクホシ エース